

戦争ごっこと私たち

次の写真は、加賀舞子砂丘での「戦争ごっこ」の写真である。毎年、五月二十七日の「日本海海戦勝利の日」。濱小学校の三年生以



上の生徒は、砂丘を匍匐して、戦争の真似をすることに決められていた。

紅白に分かれて遭遇戦をするのである。

先生方は、指揮官で、サアベルを下げて格好が良かった。

この写真の指揮官は、向先生ではなからうか。

紅白の戦争の判定が出ると、軍歌を高唱して、兵舎(校舎)に帰るのであった。

乃木大将の忠魂碑

ここに掲げた碑は、現在の濱小学校に向かって右側に建てられた。

「忠魂碑」と大書し、向かって左下に「希典書」と刻んである。

学校への登校・下校時に必ず、脱帽して最敬礼をするように教えられていた。

どう言う経緯から、乃木大将の揮毫を得たのかは知らないが、堂々たる碑であった。

敗戦の日に、逸早く加賀舞子の砂丘に埋めたとも、言われたが、現在は、町の戦没者の碑として、益に町民挙げての法要が続いている。

